

05.『エルフさんのやわらかいお尻に顔をうずめながら...』

【とある深い森の中で...】

...いかがなさいましたか？  
ふふっ...どうかそのように、かしこまらないで？  
承知しております。  
...直接、ご覧になりたいのですね？  
わたくしが香りを、ひるところを...。  
よろしいですよ...？  
この儀式にのぞむ前に、体はすみずみまで、清めて参りましたから...♡  
ひあっ！？  
も、もう...旅人様ったら...♡  
ふふっ、やわらかいですか？わたくしのお尻...。  
ひんやりして、すべすべして...。  
ああ...旅人様の手、あったかい...。  
どうぞ指先に、力を込めて...？  
お尻をぎゅうって、揉みしだいて。  
沈み込んでゆく肉の感触を、その指先にしか感じて...。  
どうぞ♡  
そのまま左右に、割りひらいて...♡  
えへへ...。  
見え、ますか...？  
わたくしの体の、恥ずべき場所...。  
お腹の中の不浄なものを、体の外へとひるための門...。  
...き、きれい、でございますか？  
わたくしの、その...不浄の穴が...？  
そ、そのようなことは...ひあっ...！？  
ああ...旅人様の吐息を、感じます...。  
なんて熱くて、あらい息吹...。  
嗅がれてしまって、いるのですね...？  
わたくしの一番、恥ずかしいところ...。  
た、旅人様...本当に、よろしいのですね？  
...はい。承知、いたしました...。  
あなた様の望みとあらば...わたくしは、喜んで...♡  
では、出口にお鼻をあてがって...？  
わたくしももう、限界です。  
お腹が張って、苦し...。  
っ...。

【ごぼり、と音を立てて彼女の腹が震える】

旅人様...いきますよ...？  
わたくし...エルフの巫女、メナリの身をもって...。  
この森に生ける命の恵み...あなた様に、ささげます...。  
んっ...。

【目の前の門から吹き出した熱風が、鼻先へと吹きかけられる】 (03分29秒～)

はあ...ん...♡  
気持ちいい...♡  
あっ...いえ、ではなく...。  
旅人様、大丈夫ですか？  
めまいなど、ございませんか...？  
...すごく気持ちがいい、ですか？  
これまで感じたこともないくらいに幸せ...でございますか？  
そんなに夢中でクンクンなさって...  
本当に、わたくしの匂いがお好きなのですね...。  
ふふ、うれしい...♡  
どうぞ、わたくしのお尻をさすって...？  
そう...揉んで...掴んで...こね回して...。

胸いっぱい、深呼吸して…。

すう…はあ…。

んっ…♡

〔再び鼻先に、熱いそよ風が吹きかけられる〕（04分48秒～）

んふ…♡

ふふ…ほっぺたをお尻にすりすりなさって、かわいい…。

わたくしも、心の底から幸せ…。

旅人様。どうぞもっと、密着なさって…？

そう。後ろから抱きしめるように、両腕を回して。

やわらかい山と山の隙間に、顔をぎゅうっと、うずめなさって…。

息苦しくは、ございませんか…？

ふふっ…旅人様のかわいいお鼻、わたくしがはさみ込んでしまいましたね…？

お鼻の穴がびったりと、わたくしの門にあてられて…。

ああ…鼻息がしっとりと、暖かい…♡

えへへ…いかがですか？

これでもう、空気の逃げ場はありませんね…？

んっ…。

〔ごぼごぼ…と怪しい音を立てて、彼女のなめらかな下腹部が張りつめていく…〕

ふふっ…わかりましたか？

お尻の穴がひくひくっ…て動いたの。

もうそこまで、降りて来てるんですよ…？

旅人様のお鼻の、すぐ前まで…♡

いきますよ…♡

お腹がゴロゴロするエルフの、朝の一番濃いおなら…

どうか余さず、受け取って…？

ふ、ん…♡

〔密着させた鼻孔に、熱い香りがそのまま注ぎ込まれてくる…〕（06分45秒～）

は…あ…♡

ああ…わかりますか…？

あつ—い香りがお鼻をのぼって、胸をいっぱいに満たすのが…♡

その熱は、わたくしの熱。

わたくしの、お腹のなかの熱…。

すう…はあ…。

もっと、わたくしを感じて…？

んっ…♡

〔マメとタマゴに似た恥ずかしい香りが、鼻孔を満たしていく…〕（07分24秒～）

はあ…♡

いかがですか…？

あなた様のため、一晩たっぷりこの腹の中で暖めました…。

マメと、タマゴのお・な・ら…♡

ああ…旅人様の熱い呼吸、お尻の穴で感じます…♡

ふふっ…くさくって、気持ちよくって、頭がクラクラしちゃいますね？

さあ…どうぞ大きく、吸って…吐いて…。

ん…♡

〔エルフの腸内で熟成されたマナが、鼻孔を埋め尽くし肺を満たしていく…〕（08分15秒～）

ふー…♡

わたくしが食べた森の恵みが、おならとなって放たれて…。

鼻から入って、胸を満たして、痛みと疲れを和らげてゆく…。

ん…♡

〔ないまぜになった森の香りが、嗅覚と意識を急速に塗りつぶしていく…〕（08分37秒～）

んふ…♡

エルフのマナが、森の命が、わたくしの中をめぐりめぐって、旅人様へと流れ込んでゆく…。

すう…はあ…。

嗅げば嗅ぐほど、傷は癒やされて…心は安らかになってゆく…。

すう…はあ…。

…旅人様？

ふふっ…眠たくなってきましたか？

いいんですよ。どうぞ安らかに、まぶたを閉じて...。  
眠たいのならば眠たいままに、ゆっくり休んでよいのです...。  
目が覚めるところにあなたの傷は、すっかり癒えているでしょう。  
悩み、苦しみ、すべて忘れて...今だけはただ...。  
安らかに...。